

保存版

災害がおきたらどうする？何を備えておけばいい？
いざというときに自分や大切な人を守るために確認しておきましょう！

つくば市防災ガイド 洪水・土砂ハザードマップ

1 最近、地盤や大雨が多いよ
2 それは、入るところ！
3 フック船長！
一緒に災害への備えを確認しよう♪

1 いざという時のために、避難先や連絡先を書き込んでおきましょう。
2 わが家の避難先
3 避難先
4 家族の連絡先

氏名 生年月日 血液型 既往症 会社・学校または携帯電話番号

T・S・H・R 年 月 日	Rh(+) 脂		
T・S・H・R 年 月 日	Rh(+) 脂		
T・S・H・R 年 月 日	Rh(+) 脂		
T・S・H・R 年 月 日	Rh(+) 脂		
T・S・H・R 年 月 日	Rh(+) 脂		

緊急連絡先 例：災害用伝言ダイヤル171、親戚〇〇宅への連絡、病院など

災害が起きたら！ 安否情報を家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう！ 災害用伝言ダイヤル 171 災害用伝言板 (Web171) 電話回線が混雑し、電話がつながりにくい状況でも、安否などの情報登録・確認できる伝言板です。 このマップは市役所で配布しています。市ホームページからPDFをダウンロードできます▶ 発行：令和7年1月 つくば市 市長公室 危機管理課 029-883-1111 (代表)

災害時の情報収集

- テレビ・ラジオ
- つくば市SNS (Xアカウント)
- つくば市災害・防災メールサービス
- つくば市役所ホームページ
- 国土交通省：川の防災情報
- Safety tips アプリ
- 茨城県 土砂災害警戒情報システム
- Yahoo!防災速報アプリ
- 茨城県河川情報システム
- ケーブルテレビ(ACCS)
- 東京電力パワーグリッド
- 茨城県防災情報メール
- 気象庁ホームページ
- 内閣府：防災情報のページ

ハザードマップは裏面をチェック!
いざというときに自分や大切な人を守るために確認しておきましょう!

避難情報と警戒レベル

各地で大雨や台風による大きな被害が発生しています。突発的・局所的な大雨も増えているので、気象情報をこまめにチェックし、安全のために適切な行動を心がけましょう。

雨の強さと降り方 (単位:mm/時)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
「やや強い雨」 ザーザーと降る。雨の音で話し声が良く聞こえない。	「強い雨」 どしゃ降り。乗車時、ワイパーを速くしても見づらい。	「激しい雨」 バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになる。	「非常に激しい雨」 滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなる。傘は全く役に立たなくなる。	「猛烈な雨」 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。車の運転は危険。

線状降水帯とは

記録的短時間大雨情報とは

風の強さと吹き方 (単位:平均風速m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～30未満	30以上
「やや強い風」 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	「強い風」 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。看板やトタン板がはずれはじめる。	「非常に強い風」 何かにこまつていないと立つられない。車を通常の速度で運転することが困難になる。	「猛烈な風」 屋外での行動はきわめて危険。多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。

台風

竜巻

竜巻注意情報(気象庁)

水平避難

垂直避難

クラ面のハザードマップを見て、
洪水と土砂災害のリスクが高い場所を事前に確認しておきましょう！

風水害 (大雨や台風による災害)

土砂災害は大雨や地震が引き金となることが多く、かけや斜面に近い場所は十分注意が必要です。

土砂災害の種類

- がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
- 地すべり
- 土石流

土砂災害の主な前兆現象

- がけや地面にびび割れができる、かけ斜面から水が湧き出る
- 井戸や川の水が濁る、湧き水が止まる、濁る
- 樹木が傾く、立木が割ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
- 降雨が続くにつれて川の水位が下がる

避難行動のポイント(水害・土砂災害)

水害

- 気象情報に注意し、早めに避難する
- 雨のピークが夜になりそうなときは、明るいうちに避難しておく
- 川から離れ、流れしない方向へ避難 (①水平避難)する
- 外に出ることが危険な場合は、状況に応じて建物の上階へ避難 (②垂直避難)する

土砂災害

- 土砂災害の前兆現象に注意し、すぐに避難する
- 土石流やがけ崩れの起こる方向に対して、横方向に避難 (①水平避難)する
- 大雨の中など外へ避難を行うことは危険と感じる時は、自宅2階以上の山の反対側の部屋や、堅固な建物の上階へ避難 (②垂直避難)することも考慮する
- 土砂災害情報が発表された場合は、すぐに危険なエリアの外へ避難する
- 記録的短時間大雨情報が発表された場合は、早めに避難する

地震発生! そのときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル (室内にいた場合)

地震発生時

1～2分

3分

5分

10分

数時間

3日

まずは自分の身を守る
家具の転倒や落下物に注意

揺れがおさまったら
火元を確認
家具の安全を確認 (倒れた家具の下敷きになっていないかを確認)
窓はく (ガラスの破片などに注意)

みんなの無事を確認、火災の発生を防ぐ
隣近所に声をかけよう
けが人はいるか

協力して生活、後続の地震に注意
初期消火 消火器を活用
ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落とす

わ、食料は蓄えているのでもう1日分、できれば1週間分を備蓄する
災害情報の収集
助け合いの心が大切

わが家の防災対策

災害はいつ発生するかわかりません、平時より自宅の安全状況を確認し、災害に備えた防災対策を行ってください。

屋内の安全対策

部屋全般

家具

テレビ

スリッパ

暖房器具

家具の配置

出入口にものを見かない

寝る場所・座る場所に注意

重いものは低い位置に

屋外の安全対策

ベランダ

プロック塀

玄関・通路

ガスボンベ

家庭にあるものを利用して浸水対策

簡易水のうを活用

プランター・ポリタンクの活用

止水板の活用

ローリングストック法(日常備蓄)

非常時持ち出し品

備蓄品

その他必要なもの

災害用備蓄品

非常時持ち出し品

備蓄品

その他必要なもの

災害時の助け合い